



# 泉南中だより

令和元年度 5月

杉並区立泉南中学校

校長 藤井 和重

## 四つの輪に思いを込めて

校長 藤井 和重

今年度は、これまでにもない大型連休となりました。連休明けは、子供たちの生活リズムが崩れていなか心配でしたが、5月7日は、いつものように元気な姿で登校してきました。

連休前日の4月26日は、3月で退職や異動された先生方の離任式で、久しぶりに来校された先生方の声を聞くことができました。放課後には卒業生が、次々に真新しい高校の制服を着込んで泉南中にやってきました。その数、総計20名くらいになったでしょうか・・・。



「うちの高校の生活指導厳しいんだって」「部活動は運動部を継続します」等々。口々に近況を話してくれました。卒業しても訪問してくれるとは我々にとっては嬉しいことです。「泉南中では厳しく指導されたけど、今では感謝しています。」と話していた卒業生もいました。

人ととの関係というのは、離れてみて初めて痛感すること、気付くことがあります。こうしたことを分かってもらえただけでもうれしいものです。

さて、泉南中は創立70年を迎えます。生徒は、みんなまじめでがんばり屋です。3月の卒業式や先月の入学式でも来賓の方々から「みんなとてもしっかりしていた。」と、お褒めの言葉をいただきました。ぜひ新入生も先輩たちの築いてきた伝統に、新しいものを積み上げてください。

右に示したものは、泉南中の校章です。生徒の皆さんに身に付けてほしい『礼儀を正しく奉仕する 誠実を尊ぶ 健康を図る』の4項目を【四つの輪】に思いを込めて制定されました。豊かな心と健康な体と共に過ごす友達とともに育んでいってください。



ギリシャの格言に「・・・逆境のときには、招かれなくともやってくるのが眞の友である」という言葉があります。友達とは、自分のことを本当に理解していて、苦しいときに手を差し伸べてくれるもの、という趣旨です。多くの友達を作ることはとても大切なことですが、中学生になるとその人の考え方、志向、趣味などが絡み合って、付き合い方が変わってきます。自我が育つと、「自分」というものが確立し、場合によっては妥協できないことや譲れないこともあると思います。そのような時は、自らを理解してくれる人(先生や先輩という立場の人かもしれません)を見付けてください。妥協が大切なのか、自らの信念を貫き通すことが必要なのか、初めから決まっている答えはありません。周りからのアドバイスを受けて、自分自身が判断することは大人になるための必要なステップです。